

**医学教育分野別評価  
産業医科大学医学部医学科  
年次報告書**

評価受審年度2022（令和4）年度

2024（令和6）年8月



University of Occupational and Environmental Health, Japan

# 医学教育分野別評価 産業医科大学医学部医学科 年次報告書

## 2024（令和6年）年度

医学教育分野別評価の受審 2022（令和4）年度

受審時の医学教育分野評価基準日本版 Ver. 2. 33

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 36

### はじめに

本学医学部医学科は、2022年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2023年10月1日より7年間の認定期間が開始した。評価結果のうち、特に部分的適合と評価された項目を中心に、次回の受審までに改善に努める予定である。今回、医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 36を踏まえ、2024年度の年次報告書を提出する。なお、本年次報告書に記載した教育活動は、日本医学教育評価機構の作成要項に則り、2022年10月～2024年3月31日を対象としている。また、重要な改訂のあった項目を除き、医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 36の転記は省略した。

## 1. 使命と学修成果

学修成果に、産業医学を含め、国際保健について詳細に記載されていることは評価できる。

学修成果について、学生と教員へ確実に周知すべきである。使命と目標とする学修成果の策定にかかわるプログラム評価委員会、カリキュラム委員会に、より多くの学生が参画すべきである。使命と目標とする学修成果の策定には、より広い範囲の教育の関係者からの意見を聴取することが期待される。

### 1. 1 使命

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・「産業医科大学学則」に使命が記載され、これを補完するものとして教育研究上の目的（ミッション）、建学の使命、ディプロマ・ポリシーが規定されている。

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・産業医学に関する医学研究の達成や国際的健康、医療の観点を使命に盛り込んでいる。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

## 1. 2 大学の自律性および教育・研究の自由

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・「講座等のあり方検討委員会」や「教員組織の編制方針」に基づき、医学部が自律的に教員組織の編制を図っている。

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・産業医学分野における最新の研究結果を学生教育に反映させている。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

1. 3 学修成果

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・なし

改善のための助言

- ・学修成果（コンピテンス・コンピテンシー）について、学生と教員へ確実に周知すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

【現在の状況】

新入生オリエンテーションにおける「教務に関する説明」の際に教務部長からディプロマ・ポリシー及びコンピテンス・コンピテンシーについて説明し、講義ごとに必ず確認して講義に臨むよう指示している。また、IR推進センターにおいて、学年末に学生に対し、コンピテンス・コンピテンシーの説明会を行った上で、コンピテンシーの到達度調査を行うとともに、個人結果及び学年の平均をフィードバックすることとしている。

【今後の計画】

コンピテンス・コンピテンシーについて、新任教員向けの説明動画を作成し視聴させることや教員FDを開催し周知することとした。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料1 新入生オリエンテーション資料（抜粋）
- ・資料2 令和5年度「コンピテンシー」到達度評価への回答について
- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・学修成果に、産業医学を含め、国際保健について詳細に記載されていることは評価できる。

##### 改善のための示唆

- ・なし

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

#### 1. 4 使命と成果策定への参画

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・使命と目標とする学修成果の策定にかかわるプログラム評価委員会、カリキュラム委員会に、より多くの学生が参画すべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

各委員会の構成員を見直し、委員として「医学部医学科の学生 各学年 若干名」と規定し、より多くの学生から意見を聴取する機会を設けることとした。新構成員となったプログラム評価委員会を令和6年3月29日に開催し、構成員となった学生からも意見聴取を行った。

#### 【今後の計画】

今後、プログラム評価委員会で得られた評価をもとにカリキュラム委員会を開催し、カリキュラムの改善について検討する。カリキュラム委員会でも学生が参画して、プログラム評価委員会での学生の意見を検討する。また、各学年代表を通じて、学生全体の意見を幅広く聴取し、カリキュラムの改善に活かす方法を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料6 令和5年第1回医学部プログラム評価委員会議事概要（案）

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・使命と目標とする学修成果の策定には、より広い範囲の教育の関係者からの意見を聴取することが期待される。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

プログラム評価委員会、カリキュラム委員会の構成員を見直し、以下のとおり構成員を追加した。

##### ＜プログラム評価委員会＞

- ・学内の医師以外の医療従事者

##### ＜カリキュラム委員会＞

- ・学内の医師以外の医療従事者
- ・患者、公共ならびに地域医療の代表者
- ・産業医学振興に関する専門的知識及び経験を有する者

新構成員となったプログラム評価委員会を令和6年3月29日に開催した。

##### 【今後の計画】

今後、プログラム評価委員会で得られた評価をもとにカリキュラム委員会を開催し、カリキュラムの改善について検討する。引き続き、教育の質を保証すべく、定期的を開催していくほか、その他の関係者からも意見を聴取できる方法を検討していく。今後、

IR推進センターにおいて、卒後3年目と7年目の卒業生を対象にコンピテンス・コンピテンシーの内容が適切かを調査するためのアンケートを実施する予定としている。また、定期的に行っている「教員・保護者懇談会」において学生の保護者からコンピテンス・コンピテンシーに対するアンケート調査を行うことを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料6 令和5年第1回医学部プログラム評価委員会議事概要（案）
- ・資料7 【IR推進センター】アンケート実施年間計画案（改訂版）

## 2. 教育プログラム

大学の目的および使命に基づき、産業医を養成するカリキュラムが6年間一貫して編成されていることは評価できる。卒前教育と卒後の「産業医学卒後修練課程」との間の連携が適切に行われていることは、評価できる。

学生が自分の学修成果の進捗状況を常に理解できるカリキュラムと教授方法/学修方法を整えるべきである。行動科学、社会医学、医療倫理学は、それぞれに責任者を定め、学修内容を整理し実践すべきである。診療参加型臨床実習の期間と内容を、より充実すべきである。意図した学修成果を関連づけて教育科目の教育範囲、教育内容、教育期間を総合的に見直し明示すべきである。関連する科目の水平的統合・垂直的統合を一層推進し、効果的な教育体系を構築することが望まれる。教育カリキュラムの立案と実施に責任と権限を持つ委員会により多くの学生を含むべきである。

### 2. 1 教育プログラムの構成

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・大学の目的および使命に基づき、産業医を養成するカリキュラムが6年間一貫して編成されていることは評価できる。

##### 改善のための助言

- ・学生が自分の学修成果の進捗状況を常に理解できるカリキュラムと教授方法/学修方法を整えるべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

令和4年度末から全学生にコンピテンシー到達度に関する調査を実施しており、結果を学生にフィードバックしている。また、コンピテンシーを教員が評価するためのマイルストーン（案）を作成し、1年次の授業科目担当責任者から意見聴取を行い、ブラッシュアップを行った。

###### 【今後の計画】

令和6年度から1年次授業科目において、e-ポートフォリオを用いてコンピテンシ・コンピテンシーの到達度評価を試行的に行い、令和7年度から順次全授業科目に対象を広げていく予定としている。e-ポートフォリオでは、学生が自身の到達に関しては個別に確認できるが、学年全体の達成度も含めた効果的なフィードバック方法も検討する。

##### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）

- ・資料8 令和4年度「コンピテンシー到達度調査」個人フィードバック書式（例）
- ・資料9 令和4年度「コンピテンシー到達度調査」集計結果
- ・資料10 令和5年度「コンピテンシー到達度調査」（中間報告）
- ・資料11 各授業科目（1年次）で評価するコンピテンシー（案）
- ・資料12 マイルストーン
- ・資料13 担当講座とコンピテンシーの対応表への意見まとめ

### 質的向上のための水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・産業医学に関する生涯教育のカリキュラムが設定されている。

#### 改善のための示唆

- ・生涯学習につながるよう、アクティブ・ラーニングを用いたカリキュラムをより一層導入することが望まれる。

### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

#### 【現在の状況】

医学教育改革推進センター運営会議において、今後どのようにアクティブ・ラーニングを用いたカリキュラムとするか検討を行った。

#### 【今後の計画】

各授業科目で取り入れられているアクティブ・ラーニングについて現状をより詳細に把握し、良い事例等を紹介することや、教員FDにおいて周知することを検討している。また、教育要項（シラバス）において、学生がアクティブ・ラーニングを用いた授業であることが分かるよう可視化することも検討する。

### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）

## 2. 2 科学的方法

### 基本的水準： 部分的適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

### 改善のための助言

- ・臨床実習の現場でEBMの教育を確実に行うべきである。

### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

#### 【現在の状況】

医学教育改革推進センター運営会議において、今後どのように臨床実習の現場でEBM教育を取り入れていくかについて議論を行った。

#### 【今後の計画】

各診療科の臨床実習において取り入れられているEBM教育について現状をより詳細に把握し、良い事例等を紹介することや、教員FDにおいて周知することを検討している。具体的な実例を提示した上で、各診療科にEBM教育の推進依頼を進める予定としている。また、臨床実習の手引きにおいて、学生にEBM教育が行われていることが分かるよう可視化することも検討する。

### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）

### 質的向上のための水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・「産業生態科学研究所」の教員も参画し、最新の産業医学分野の知識や実務を教育している。

### 改善のための示唆

- ・なし

### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

### 改善状況を示す根拠資料

なし

## 2. 3 基礎医学

### 基本的水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための助言

- ・基礎医学は、臨床医学を修得し応用するのに必要な基本的な科学的知見、概念および手法を理解するために役立つという観点から定義し、実践すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

領域を細分化し、それぞれに関連する領域の、基礎医学、臨床医学の教員による意見交換のための、水平垂直統合会議を立ち上げている。

##### 【今後の計画】

それぞれの領域における「水平垂直統合会議」を定期的を開催し、現状を十分把握した上で、基礎医学の、臨床医学を習得する上での、関連や統合的位置づけを明記し、学生の学修支援の推進につながる具体的な統合案を推進する予定としている。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）

#### 質的向上のための水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・科学的進歩について、人工知能、新興感染症、遺伝子診断、医用工学、原発事故など、現在および将来的に社会において必要になることをカリキュラムに反映させている。

#### 改善のための示唆

- ・なし

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

## 2. 4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学

### 基本的水準： 部分的適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための助言

- ・行動科学および社会医学の「メドレーカリキュラム」について、それぞれの統括責任者を定め、学修内容の一貫性を担保し、実践すべきである。
- ・医療倫理学について、責任者を定め、6年間を通じた学修内容を整理し、実践すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

行動科学及び社会医学の「メドレーカリキュラム」は、令和4年度から科目責任者を定めた。令和5年度には「メドレーカリキュラム」に含まれている授業科目の科目担当責任者にアンケート調査を行い、ブラッシュアップを行った。医療倫理学については、令和5年度から「メドレーカリキュラム」とし、科目責任者を定めた。

##### 【今後の計画】

令和6年度は医療倫理学の「メドレーカリキュラム」をブラッシュアップしていく予定としている。今後、不足する内容等について精査し、将来的には独立した科目とすることも検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料14 行動科学／社会医学に関連する授業内容に関するアンケート調査について
- ・資料15 令和6年度メドレーカリキュラム（行動科学）
- ・資料16 令和6年度メドレーカリキュラム（社会科学）
- ・資料17 令和6年度メドレーカリキュラム（医療倫理学）

### 質的向上のための水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための示唆

- ・行動科学、社会医学、医療倫理学のカリキュラムを、科学的、技術的そして臨床的進歩

に合わせて調整および修正することが望まれる。

## 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

### 【今後の計画】

教育責任者のもと、カリキュラムを担当する教員による、定期的な「メドレーカリキュラム」のブラッシュアップを行う予定である。カリキュラムの内容に、医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）への適合も含めて、定期的に調整し、将来的には独立した科目とすることも検討する。

## 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料14 行動科学／社会医学に関連する授業内容に関するアンケート調査について
- ・資料15 令和6年度メドレーカリキュラム（行動科学）
- ・資料16 令和6年度メドレーカリキュラム（社会科学）
- ・資料17 令和6年度メドレーカリキュラム（医療倫理学）

## 2. 5 臨床医学と技能

### 基本的水準： 部分的適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・健康増進と予防医学の体験を、6年間を通じて実践していることは評価できる。

#### 改善のための助言

- ・臨床現場において、計画的に患者と接する教育プログラムを十分持つべきである。
- ・臨床実習は、すべての重要な診療科で十分な期間実施すべきである。
- ・診療参加型臨床実習の期間と内容をより充実すべきである。

## 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

### 【現在の状況】

令和6年度からすべての医学部生が新カリキュラムに移行したことにより、全学生が63週に亘って臨床実習が実施される。また、可能な限り重要な診療科で臨床実習が行えるよう、診療参加型臨床実習においては、内科系、外科系、その他重要な診療科を定め、当該グループから必ず、3週間以上配属されることとした。診療参加型臨床実習の内容については、医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）で定められた各医行為を学生に経験させることができるよう担当診療科を決定した。

低学年においても、患者や利用者とは接する機会として、早期臨床体験実習においても、

地域の医療機関や、福祉施設での実習を行っている。

#### 【今後の計画】

すべての重要な診療科で臨床実習を行うことができるよう引き続き検討する。また、見学型臨床実習と診療参加型臨床実習の期間を見直し、診療参加型臨床実習の期間を充実することができないか引き続き検討する。診療参加型実習の内容の充実のため、学生が行う医行為の内容、同意取得の流れについて、病院統括部門とともに検討を行う。

現在実施している早期臨床体験実習において、患者と接する機会を、内容的、時間的にも計画的に進行する教育プログラムへの修正を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料18 診療参加型臨床実習に関する掲示
- ・資料19 診察項目・治療 各診療科割り振り
- ・資料20 基本的臨床手技 各診療科割り振り
- ・資料21 診療参加型臨床実習に関する意見交換会意見まとめ
- ・資料22 診療参加型臨床実習の実施に係る同意の取得について

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・早期から患者と接触する機会を持ち、徐々に患者診療への参画を深めていくことが期待される。
- ・さまざまな臨床技能教育が行われるように、シミュレーション教育を早期から十分に実施することが望まれる。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

本学で実施する学生支援プログラムにおいて、低学年（1～3年次生）を対象とした「シミュレーション・ラボ活用術」を開催している。

早期臨床体験実習において、大学病院や地域での高齢者福祉施設での体験実習を開始している。患者や施設利用者と接する機会となっている。

##### 【今後の計画】

今後は、「シミュレーション・ラボ活用術」を定期的に複数回実施することを検討する。また、シミュレーション・ラボを学生に開放し、「シミュレーション・ラボ活用術」に参

加した学生が、所属する学年の指導役とすることで、学生のアクティブ・ラーニングに繋がるよう検討する。

早期臨床体験実習での実習内容を、患者、利用者と接する内容を段階的に深めていくために、実習先との調整を継続する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料23 学生による臨床・シミュレーション・ラボ活用術（報告資料）

## 2. 6 教育プログラムの構造、構成と教育期間

### 基本的水準：部分的適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための助言

- ・意図した学修成果を関連づけて教育科目の教育範囲、教育内容、教育期間を総合的に見直し明示すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

教育要項には、学生の関連する学修目標の理解につなげるため、各科目の講義内容に関連するコンピテンシーを記載している。

コンピテンス・コンピテンシーのすべての項目ごとに、各学年での到達目標としてのマイルストーンを作成した。

##### 【今後の計画】

令和6年度から1年次授業科目において、e-ポートフォリオを用いてコンピテンシーの到達度評価を試行的に行い、令和7年度から順次全授業科目に対象を広げていく予定としている。学生の関連する学修目標の理解につなげるため、各学年でのマイルストーンも明示することを検討する。カリキュラム委員会で教育科目の教育範囲、教育内容、教育期間を見直し、明示することを検討する。また、評価の対応科目表を作成し、関連付けして見直していくことを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料11 各授業科目（1年次）で評価するコンピテンシー（案）
- ・資料12 マイルストーン
- ・資料24 令和5年度 授業科目とコンピテンシーの対応表

- ・資料25 令和6年度教育要項（例・微生物学抜粋）

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・関連する科学・学問領域および課題ごとに「水平垂直統合会議」が開催されている。

##### 改善のための示唆

- ・関連する科目の水平的統合・垂直的統合を一層促進し、効果的な教育体系を構築することが望まれる。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

関連する科目の水平的統合・垂直的統合を一層促進するための方針について検討した。

###### 【今後の計画】

「水平垂直統合会議」をより実効性のあるものとした上で、教育責任者の下、定期的  
に開催し、関連する科目の水平・垂直統合を促進する。また、「水平垂直統合会議」の必  
要性やその取り組み内容について水平垂直統合の意義について周知を図る。

##### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）

## 2. 7 教育プログラム管理

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・カリキュラムの立案はカリキュラム委員会が、カリキュラムの実施は教務委員会が担っている。

##### 改善のための助言

- ・教育カリキュラムの実施に責任と権限を持つ委員会に学生の代表を含むべきである。
- ・教育カリキュラムの立案に関する委員会により多くの学生を含むべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

教育カリキュラムの立案に関する委員会であるカリキュラム委員会の構成員を見直し

た。

#### 【今後の計画】

今後、医学部プログラム評価委員会で得られた評価をもとに、カリキュラム委員会を開催する。教育カリキュラムの実施に責任と権限を持つ委員会である「教務委員会」や関連する小委員会において、学年代表学生を通じて学生の幅広い意見を聴取する仕組みを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料6 令和5年第1医学部プログラム評価委員会議事概要（案）

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・教育カリキュラムの立案と実施に関する委員会に、より広い範囲の教育の関係者の代表を含むことが望まれる。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

プログラム評価委員会、カリキュラム委員会の構成員を見直し、以下のとおり構成員を追加した。

＜プログラム評価委員会＞

- ・学内の医師以外の医療従事者

＜カリキュラム委員会＞

- ・学内の医師以外の医療従事者
- ・患者、公共ならびに地域医療の代表者
- ・産業医学振興に関する専門的知識及び経験を有する者

新構成員となったプログラム評価委員会を令和6年3月29日に開催した。

##### 【今後の計画】

今後、プログラム評価委員会で得られた評価をもとにカリキュラム委員会を開催し、カリキュラムの改善について検討する。引き続き、教育の質を保証すべく、定期的を開催していくほか、その他の関係者からも意見を聴取できる方法を検討していく。

### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料6 令和5年第1回医学部プログラム評価委員会議事録（案）

## 2. 8 臨床実践と医療制度の連携

### 基本的水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・卒前教育と卒後の「産業医学卒後修練課程」との間の連携が適切に行われていることは、評価できる。

#### 改善のための助言

- ・なし

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 質的向上のための水準： 部分的適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための示唆

- ・教育プログラムの改良には、地域や社会の意見を取り入れることが望まれる。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

プログラム評価委員会、カリキュラム委員会の構成員を見直し、以下のとおり構成員を追加した。

＜プログラム評価委員会＞

- ・学内の医師以外の医療従事者

#### <カリキュラム委員会>

- ・学内の医師以外の医療従事者
- ・患者、公共ならびに地域医療の代表者
- ・産業医学振興に関する専門的知識及び経験を有する者

新構成員となったプログラム評価委員会を令和6年3月29日に開催した。

また、令和5年度に高齢者福祉医療施設で実習を行う2年次早期臨床体験実習Ⅱにおいて、一部の実習先において指導担当責任者と意見交換を行い、次年度の実習に活かすこととした。

#### 【今後の計画】

今後、プログラム評価委員会で得られた評価をもとにカリキュラム委員会を開催し、カリキュラムの改善について検討する。引き続き、教育の質を保証すべく、定期的を開催していくほか、その他の関係者からも意見を聴取できる方法を検討していく。今後、IR推進センターにおいて、卒後3年目と7年目の卒業生を対象にコンピテンス・コンピテンシーの内容が適切かを調査するためのアンケートを実施する予定としている。また、定期的に行っている「教員・保護者懇談会」において学生の保護者からコンピテンス・コンピテンシーに対するアンケート調査を行うことを検討する。

加えて、早期臨床体験実習において、可能な限りすべての実習先との意見交換を行い、そのカリキュラムの改善に繋げていくことを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料6 令和5年第1回医学部プログラム評価委員会議事録
- ・資料7 【IR推進センター】アンケート実施年間計画案（改訂版）
- ・資料26 令和5年度第8回教務委員会議事録（抜粋）

### 3. 学生の評価

新カリキュラムで、各科目の定期試験を廃止し、形成的評価としての小テスト、レポートなどを導入した。

学生の知識、技能および態度を確実に評価し、学年ごとに学修成果の達成をモニタすべきである。様々な評価方法と形式をそれぞれの評価有用性に合わせて活用すべきである。技能、態度の評価方法の信頼性と妥当性を検証することが期待される。臨床実習に、mini-CEX、患者や多職種による360度評価などの多様な評価法をさらに多くの科で導入することが期待される。学修成果の達成度を段階的に評価し、学生の学修を促進する評価を実践すべきである。科目ごとの試験が学生の負担にならないように、時期や方法を適切に定めることが期待される。

#### 3. 1 評価方法

##### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・学生の知識、技能および態度を確実に評価し、ポートフォリオ等を用いて学年ごとに学修成果の達成をモニタすべきである。
- ・様々な評価方法と形式をそれぞれの評価有用性に合わせて活用すべきである。
- ・評価を外部の専門家によってより精密に吟味されるべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

コンピテンシーを教員が評価するためのマイルストーン（案）を作成し、1年次の授業科目担当責任者から意見聴取を行い、ブラッシュアップを行った。

##### 【今後の計画】

令和6年度から1年次授業科目において、e-ポートフォリオを用いてコンピテンシーの到達度評価を試行的に行い、令和7年度から順次全授業科目に対象を広げていく予定としている。また、コンピテンシーの到達度で評価する学修成果と通常の成績で評価する学修成果を今後整理することを検討している。また、学生の成績に関する内容を審議する成績評価小委員会を充実させ、得られた評価を吟味することが可能か検討を行う。

##### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料11 各授業科目（1年次）で評価するコンピテンシー（案）
- ・資料12 マイルストーン

- ・資料13 担当講座とコンピテンシーの対応表への意見まとめ

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・技能、態度の評価方法の信頼性と妥当性を検証することが期待される。
- ・臨床実習に、mini-CEX、患者や多職種による360度評価などの多様な評価法をさらに多くの科で導入することが期待される。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【今後の計画】

技能、態度の評価方法の信頼性と妥当性について、IR推進センターで検討する。臨床実習でmini-CEX、患者や多職種による360度評価などの多様な評価法を導入するよう促していくことを検討する。特に、mini-CEXに関しては、各診療科での臨床実習責任者に対する研修等を行い、導入の推進を行う。

##### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 3. 2 評価と学修との関連

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・新カリキュラムで、各科目の定期試験を廃止し、形成的評価としての小テスト、レポートなどを導入した。

##### 改善のための助言

- ・学生が学修成果を達成していることを保証する評価を実践すべきである。
- ・学修成果の達成度を段階的に評価し、学生の学修を促進する評価を実践すべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

コンピテンシーを教員が評価するためのマイルストーン（案）を作成し、1年次の授

業科目担当責任者から意見聴取を行い、ブラッシュアップを行った。

#### 【今後の計画】

令和6年度から1年次授業科目において、e-ポートフォリオを用いてコンピテンシーの到達度評価を試行的に行い、令和7年度から順次全授業科目に対象を広げていく予定としている。今後、得られた評価を分析・評価することを検討する。また、IR推進センターで集計、解析した内容を学生フィードバックすることで、学生の学修促進に繋げていくことを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料8 令和4年度「コンピテンシー到達度調査」個人フィードバック書式（例）
- ・資料9 令和4年度「コンピテンシー到達度調査」集計結果
- ・資料10 令和5年度「コンピテンシー到達度調査」（中間報告）
- ・資料11 各授業科目（1年次）で評価するコンピテンシー（案）
- ・資料12 マイルストーン
- ・資料13 担当講座とコンピテンシーの対応表への意見まとめ

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・科目ごとの試験が学生の負担にならないよう、時期や方法を適切に定めることが期待される。
- ・形成的評価としての小テストやレポートを学生にフィードバックすることが期待される。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

学生から試験が負担であると申し出がある1年次及び2年次の授業科目は、カレンダー共有アプリで試験が重ならないようにしている。また2年次授業科目について、試験の実施時期についてアンケートを行い、試験が重ならないよう調整を行った。

##### 【今後の計画】

引き続き、学生に負担が生じないような配慮を検討していく。また、引き続き、形成的評価として、学生にフィードバックを行うよう、教務委員会を中心に、各授業科目に促すことを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料27 カレンダー共有アプリ画面
- ・資料28 令和6年度 2年次授業時間割（案）について
- ・資料29 令和6年度2年次生授業時間割

#### 4. 学生

さまざまなカウンセリング制度により学生を支援していることは評価できる。複数の経済的支援制度を設けていることは評価できる。産業医についてのキャリアガイダンスや進路支援を行っていることも評価できる。

身体に不自由がある学生の入学について、方針を定めるべきである。入学決定に対する疑義申し立て制度を設けて、明示することが望まれる。学生が、使命の策定や教育プログラムの策定、管理、評価を審議する委員会に参加し、適切に議論に加わるべきである。

##### 4. 1 入学方針と入学選抜

###### 基本的水準： 適合

###### 特記すべき良い点（特色）

- ・学生の選抜について、地域偏在に考慮した学校推薦型選抜や総合型選抜などの多彩な方法で実施している。

###### 改善のための助言

- ・身体に不自由がある学生の入学について、方針を定めるべきである。

###### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

改正障害者差別解消法により、令和6年4月から合理的配慮の提供が義務化されることから、現在、本学でも関連する規程等を整備した。規定に準じたうえで、事例に対する個別の対応を開始している。

###### 【今後の計画】

今後、整備された規定等をもとに対応を行う。

###### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料30 産業医科大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する規程
- ・資料31 障害を理由とする差別の解消の推進に関する実施要領
- ・資料32 障害者支援推進委員会内規
- ・資料33 障害を理由とする差別の解消の推進に関する体制
- ・資料34 配慮が必要な学生について（依頼）

###### 質的向上のための水準： 部分的適合

###### 特記すべき良い点（特色）

- ・産業医養成を目的とするディプロマ・ポリシーに基づいて、アドミッション・ポリシー

が策定され、学生の選抜が実施されている。

#### 改善のための示唆

- ・入学決定に対する疑義申し立て制度を設けて、明示することが望まれる。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

入試委員会において、今後、疑義申し立て制度を策定し、他大学と同様にホームページ上で公表することを検討することを決定した。

##### 【今後の計画】

引き続き、疑義申し立て制度の内容を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料35 令和5年度第3回入試委員会議事概要（抜粋）

## 4. 2 学生の受け入れ

### 基本的水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための助言

- ・なし

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 質的向上のための水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・入学者の数および資質は、社会からの産業医の要請に合うよう調整されている。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

4. 3 学生のカウンセリングと支援

基本的水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・さまざまなカウンセリング制度により学生を支援していることは評価できる。
- ・複数の経済的支援制度を設けていることは評価できる。

改善のための助言

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・産業医についてのキャリアガイダンスや進路支援を行っていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

#### 4. 4 学生の参加

##### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

・なし

##### 改善のための助言

- ・学生が、使命の策定や教育プログラムの策定、管理、評価を審議する委員会に参加し、適切に議論に加わるべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【今後の計画】

プログラム評価委員会及びカリキュラム委員会の構成員を見直し、委員として「医学部医学科の学生 各学年 若干名」と規定し、より多くの学生から意見を聴取する機会を設けることとした。新構成員となったプログラム評価委員会を令和6年3月29日に開催した。

###### 【今後の計画】

今後、プログラム評価委員会で得られた評価をもとにカリキュラム委員会を開催し、カリキュラムの改善について検討する。引き続き、教育の質を保証すべく、定期的を開催していく。また、各学年代表を通じて、学生全体の意見を幅広く聴取し、プログラム改善に活かす方法を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料6 令和5年第1回医学部プログラム評価委員会議事録（案）

##### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

・なし

改善のための示唆

・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

## 5. 教員

教員募集にあたって、「優れた産業医・産業保健専門職の養成と産業医学の振興を図る」という目的が明確化されている。

基礎医学、行動科学、社会医学、臨床医学の教員の責任を明示し、その活動をモニタすべきである。管理職に占める女性の割合に関する目標を確実に達成すべきである。教育、研究、診療の職務間のバランス、およびその活動における業績を年次ごとに評価すべきである。学内外の教員がカリキュラム全体を十分に理解できるよう、研修、能力開発、および支援を実施すべきである。

### 5. 1 募集と選抜方針

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・「教員組織の編制方針」に基づき、「教育研究質保証推進委員会」および「講座等のあり方検討委員会」において、教員組織の適切性について評価を行っている。

##### 改善のための助言

- ・基礎医学、行動科学、社会医学、臨床医学の教員の責任を明示し、その活動をモニタすべきである。
- ・管理職に占める女性の割合に関する目標を確実に達成すべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

毎年度、教員の業績評価を行うことができる仕組みについて検討を開始した。

###### 【今後の計画】

教員の責務に関する資料、動画視聴教材を作成し、採用時研修やその後も定期的に学修する方法を検討する。今後、IR推進センター、教員個人評価委員会及び教育職員再任審査委員会等を中心に検討する。

##### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料36 令和5年度第3回IR推進センター運営会議議事録

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・教員募集にあたって、「優れた産業医・産業保健専門職の養成と産業医学の振興を図る」という目的が明確化されている。

#### 改善のための示唆

- ・なし

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 5. 2 教員の活動と能力開発

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・教育、研究、診療の職務間のバランス、およびその活動における業績を年次ごとに評価すべきである。
- ・学内外の教員がカリキュラム全体を十分に理解できるよう、研修、能力開発、および支援を実施すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

毎年度、教員の業績評価を行うことができる仕組みについて検討を開始した。

##### 【今後の計画】

今後、IR推進センター、教員個人評価委員会及び教育職員再任審査委員会等を中心に検討する。また、カリキュラムを十分理解できるような教員FDを行うことを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料36 令和5年度 第3回IR推進センター運営会議議事録

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・「講座等のあり方検討委員会」において、教員と学生の比率が考慮されている。

改善のための示唆

・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

## 6. 教育資源

学生を全国の事業所に派遣して行う「産業医学現場実習」を取り入れ、全国の産業医が非常勤講師として学生を指導していることは評価できる。

各学生が適切な臨床経験を積めるように、臨床実習で実際に経験できる疾患および患者数を把握し、十分な臨床資源を確保施設ごとに把握すべきである。地域住民のニーズを把握し、大学および学外の臨床実習施設を評価、整備、改善することが期待される。臨床実習において、学生が患者情報にアクセスし、適切に利用できることが望まれる。カリキュラム開発や教育技法および評価方法の開発について、教育専門家としての「医学教育改革推進センター」の利用についての方針を策定し、履行すべきである。国内外の他教育機関との交流をより一層充実すべきである。

### 6. 1 施設・設備

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・「産業生態科学研究所」が設置され、産業医学の研究教育に活用されている。

##### 改善のための助言

- ・なし

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

##### 改善状況を示す根拠資料

なし

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・臨床実習学生用の学生実習室が整備された「急性期診療棟」を建設中である。

##### 改善のための示唆

- ・なし

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 6. 2 臨床実習の資源

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・学生を全国の事業所に派遣して行う「産業医学現場実習」を取り入れ、全国の産業医が非常勤講師として学生を指導していることは評価できる。

##### 改善のための助言

- ・各学生が適切な臨床経験を積めるように、臨床実習で実際に経験できる疾患および患者数を把握し、十分な臨床資源を確保すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

臨床実習で経験した症例や臨床推論を行った症例に関しては、e-ポートフォリオを用いた記録を開始している。

##### 【今後の計画】

今後、より多くの学生及び教員がe-ポートフォリオに入力し、学修成果を把握することができるよう周知を図るとともに得られた結果をもとに臨床資源を把握、確保する。実習中に経験した医行為の記録としても活用することも検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料37 e-ポートフォリオ入力画面
- ・資料38 学生が経験した疾患リスト

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・地域住民のニーズを把握し、大学および学外の臨床実習施設を評価、整備、改善することが期待される。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【今後の計画】

引き続き、地域住民のニーズを把握するためのアンケート調査を行い、継続的に改善を図ることとする。

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 6. 3 情報通信技術

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

・なし

##### 改善のための助言

・学生によるICTの利用状況を把握し、電子教材の有効利用につなげるべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【今後の計画】

ICTの活用状況と課題把握のために学生アンケートを予定している。アンケート結果を参考として、有効利用につなげる方法を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

・資料39 「ICT教材の利用に関するアンケート」（質問項目案）

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

・なし

##### 改善のための示唆

・臨床実習において、学生が患者情報にアクセスし、適切に利用できることが望まれる。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

これまで学生には電子カルテシステムでは担当患者のカルテの閲覧のみを許可していたが、学生が電子カルテに入力し、それを指導医が確認・承認することで登録ができるようシステムの改修を行った。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料40 電子カルテシステム学生代行入力権限表

### 6. 4 医学研究と学識

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・研究の施設・設備と重要性に関する情報を学生にさらに周知すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【今後の計画】

入学時のオリエンテーションにおいて、研究の施設・設備と重要性について説明を加えることや、学生便覧等に研究施設の情報を掲載することを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・学修成果に産業医学における研究に携わることが定められ、実践されている。

##### 改善のための示唆

- ・なし

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 6. 5 教育専門家

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・「医学教育改革推進センター」を設置し、医学教育全般の改善に役立てている。

##### 改善のための助言

- ・カリキュラム開発や教育技法および評価方法の開発について、教育専門家としての「医学教育改革推進センター」の利用の方針を策定し、履行すべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【今後の計画】

医学教育改革推進センターにおいて、定期的にFDを開催する。また、教員の学習コンテンツを作成する。各講座の教育担当責任者との、個別の協議会の定期的な開催など、各講座の状況に合わせた利用方針を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料41 教員の学習コンテンツ（OCSE、POST-CC OSCE、学修成果基盤型教育）

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・医学教育に関する重要な情報を、学内の教員に広く周知し、教職員の教育能力向上をさらに図ることが期待される。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【今後の計画】

医学教育改革推進センターにおいて、定期的にFDを開催する。また、教員の学習コンテンツを作成する。各講座の教育担当責任者との、個別の協議会の定期的な開催など、

各講座の状況に合わせた利用方針を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料41 教員の学習コンテンツ（OCSE、POST-CC OSCE、学修成果基盤型教育）

## 6. 6 教育の交流

### 基本的水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための助言

- ・国内外の他教育機関との交流をより一層充実すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

コロナ禍により中止となっていた交換医学教育を再開した。また、国際交流に関するFDを実施した。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料42 令和6年度交換医学教育派遣学生について
- ・資料43 台湾 Mackay大学（馬偕医学院）の学生受入れについて
- ・資料44 医学部 教員研修会（FD）の開催について（案内文）

### 質的向上のための水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための示唆

- ・教職員と学生による国際交流を促進するため、プログラムと支援組織を充実させることが望まれる。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

国際交流に関するFDを実施するとともに、国際センターで、国際交流に関する意見

交換会を開催した。

#### **改善状況を示す根拠資料**

- ・資料44 医学部 教員研修会 (FD) の開催について (案内文)
- ・資料45 意見交換会案内メール
- ・資料46 国際交流に関する意見交換会出席者一覧

## 7. 教育プログラム評価

「IR推進センター」で収集・分析した入試成績と入学後成績、卒業生の進路情報を入試委員会にフィードバックし、学生の選抜方法などの検討・改善に活用している。

教学に関わる各委員会の役割分担を明確にし、カリキュラムを定期的にモニタする方法を確立すべきである。意図した学修成果（コンピテンス・コンピテンシー）の達成度に基づき、カリキュラムとその構成要素および学生の進歩を評価し、教育プログラムの課題を特定し対応すべきである。教育プログラムの評価結果を確実にカリキュラムに反映すべきである。教員と学生へのアンケート調査など、教育プログラムに関する系統的なフィードバックを定期的に実施し、分析結果をカリキュラム改善に反映すべきである。使命と意図した学修成果、カリキュラムおよび資源の提供に関して、学生と卒業生の実績を系統的にモニタする方法を確立し、分析すべきである。プログラム評価委員会に学生の代表を構成員として規定すべきである。

### 7. 1 教育プログラムのモニタと評価

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・プログラム評価委員会およびカリキュラム委員会をはじめとする教学に関する委員会の役割分担を明確にし、教学IRデータに基づいた内部質保証を確実に実動すべきである。
- ・カリキュラムを定期的にモニタする方法を確立し、教育プログラムを評価すべきである。
- ・意図した学修成果（コンピテンス・コンピテンシー）の達成度に基づき、カリキュラムとその構成要素および学生の進歩を評価し、教育プログラムの課題を特定し対応すべきである。
- ・教育プログラムの評価結果を確実にカリキュラムに反映すべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

令和4年度末から全学生にコンピテンシー到達度に関する調査、4年次生を対象にカリキュラム評価アンケートを開始し、プログラム評価委員会での評価を行った。

また、コンピテンシー到達度に関する調査結果は学生にフィードバックしている。また、コンピテンス・コンピテンシーを教員が評価するためのマイルストーン（案）を作成し、1年次の授業科目担当責任者から意見聴取を行い、ブラッシュアップを行った。

###### 【今後の計画】

プログラム評価委員会でも得られた評価をもとに、カリキュラム委員会において、教

育内容の改善について検討する。

また、令和6年度から1年次授業科目において、e-ポートフォリオを用いて、学生の自己評価だけでなく、教員側でもコンピテンス・コンピテンシーの到達度評価を試行的に行い、令和7年度から順次全授業科目に対象を広げていく予定としている。今後、得られた評価を分析・評価することを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料6 令和5年度第1回プログラム評価委員会議事概要（案）
- ・資料9 令和4年度「コンピテンシー到達度調査」集計結果
- ・資料10 令和5年度「コンピテンシー到達度調査」（中間報告）
- ・資料11 各授業科目（1年次）で評価するコンピテンシー（案）
- ・資料12 マイルストーン
- ・資料13 担当講座とコンピテンシーの対応表への意見まとめ
- ・資料47 令和4年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果
- ・資料48 令和5年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果（中間報告）
- ・資料49 令和5年度第3回1年次教育小委員会議事概要【抜粋】

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・カリキュラムの特定の構成要素を定期的に分析し、教育プログラムを包括的に評価することが望まれる。
- ・卒前から卒後にわたる学修成果の達成度の分析に基づき、教育プログラムを包括的に評価することが望まれる。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

IR推進センターにおいて在学生に対するカリキュラム評価アンケートを実施し、プログラム評価委員会及びカリキュラム委員会で改善に活かしている。また、令和5年度から卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」（指導医による客観評価）を実施した。

###### 【今後の計画】

今後、IR推進センターにおいて、卒後3年目と7年目の卒業生を対象にコンピテンス・コンピテンシーの内容が適切かを調査するためのアンケートを実施する予定としている。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料7 【IR推進センター】アンケート実施年間計画案（改訂版）
- ・資料47 令和4年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果
- ・資料48 令和5年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果（中間報告）
- ・資料50 令和5年度 卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」集計結果

## 7. 2 教員と学生からのフィードバック

### 基本的水準： 部分的適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための助言

- ・教員と学生へのアンケート調査など、教育プログラムに関する系統的なフィードバックを定期的の実施し、分析結果をカリキュラム改善に反映すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

在学生に対するカリキュラム評価アンケート、卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」（指導医による客観評価）等による評価結果をプログラム評価委員会で検討し、カリキュラム改善のための検討に活かしている。

##### 【今後の計画】

今後は、プログラム評価委員会の評価に基づき、カリキュラム委員会において具体的な改善計画の策定につなげていく。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料6 令和5年度第1回プログラム評価委員会議事概要（案）
- ・資料47 令和4年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果
- ・資料48 令和5年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果（中間報告）
- ・資料50 令和5年度 卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」集計結果

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・教員と学生からの系統的なフィードバックの分析結果を、教育プログラムの開発に活用することが望まれる。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

在学生に対するカリキュラム評価アンケート、卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」（指導医による客観評価）等による評価結果をプログラム評価委員会で検討し、カリキュラム改善のための検討に活かしている。

###### 【今後の計画】

今後は、プログラム評価委員会の評価に基づき、カリキュラム委員会において具体的な改善計画の策定につなげていく。その内容には、教授方法や学生評価方法に関して、教育プログラムの内容も含めて検討していく

##### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料6 令和5年度第1回プログラム評価委員会議事概要（案）
- ・資料47 令和4年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果
- ・資料48 令和5年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果（中間報告）
- ・資料50 令和5年度 卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」集計結果

### 7. 3 学生と卒業生の実績

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・使命と意図した学修成果、カリキュラムおよび資源の提供に関して、学生と卒業生の実績を系統的にモニタする方法を確立し、分析すべきである。

## 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

### 【現在の状況】

IR推進センターにおいて、「コンピテンシー到達度調査」、「4年次生カリキュラム評価アンケート」、「卒後1年目臨床研修先 コンピテンス到達度評価アンケート」を行い、プログラム評価委員会及びカリキュラム委員会で改善に活かしている。

コンピテンス・コンピテンシーを教員が評価するためのマイルストーン（案）を作成し、1年次の授業科目担当責任者から意見聴取を行い、ブラッシュアップを行った。

### 【今後の計画】

今後は実施する学年を順次進行し、6年間継続して学修成果の評価を行う。

## 改善状況を示す根拠資料

- ・資料9 令和4年度「コンピテンシー到達度調査」集計結果
- ・資料10 令和5年度「コンピテンシー到達度調査」集計結果（中間報告）
- ・資料11 各授業科目（1年次）で評価するコンピテンシー（案）
- ・資料12 マイルストーン
- ・資料13 担当講座とコンピテンシーの対応表への意見まとめ
- ・資料47 令和4年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果
- ・資料48 令和5年度4年次生「カリキュラム評価アンケート」集計結果（中間報告）
- ・資料50 令和5年度 卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」集計結果

## 質的向上のための水準： 部分的適合

### 特記すべき良い点（特色）

- ・「IR推進センター」で収集・分析した入試成績と入学後成績、卒業生の進路情報などを該当する委員会にフィードバックし、学生の選抜方法などの検討・改善に活用している。

### 改善のための示唆

- ・卒業生の背景と状況を把握するための系統的な調査を実施し、分析することが望まれる。

## 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

### 【現在の状況】

卒業生（1期～40期）全員に対し、医学部卒業生「コンピテンシー到達度調査」を実施し、カリキュラムが変更となった時期で分類し、その到達度を分析した。その結果をプログラム評価委員会において報告を行った。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料51 令和5年度 医学部卒業生「コンピテンシー到達度調査」

### 7. 4 教育の関係者の関与

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・プログラム評価委員会に学生の代表を構成員として規定すべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

プログラム評価委員会の構成員を見直し、委員として「医学部医学科の学生 各学年若干名」と規定し、より多くの学生から意見を聴取する機会を設けることとした。新構成員となったプログラム評価委員会を令和6年3月29日に開催した。

###### 【今後の計画】

引き続き、教育の質を保证すべく、定期的で開催していく。今後は、構成員である学生を通じて、学生全体の意見を集めることを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料6 令和5年第1回医学部プログラム評価委員会議事録

#### 質的向上のための水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・広い範囲の教育の関係者へ、教育プログラムの評価結果の閲覧を許可することが望まれる。
- ・卒業生の勤務する病院などから、学修成果の達成度およびカリキュラムに関する系統的

なフィードバックを得ることが期待される。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【現在の状況】

卒後1年目の臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」を行い、学修成果の達成度およびカリキュラムに関するフィードバックを得ている。

##### 【今後の計画】

今後、IR推進センターにおいて、卒後3年目と7年目の卒業生を対象にコンピテンス・コンピテンシーの内容が適切かを調査するためのアンケートを実施する予定としている。また、定期的に行っている「教員・保護者懇談会」において学生の保護者からコンピテンス・コンピテンシーに対するアンケート調査を行うことを検討する。

また、各種アンケート結果を本学ホームページ上で公開していくことを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）
- ・資料7 【IR推進センター】アンケート実施年間計画案（改訂版）
- ・資料50 令和5年度 卒後1年目臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」集計結果

## 8. 統轄および管理運営

産業医学政策や地域医療に関し、行政や地域社会と建設的な交流を持っていることは評価できる。

教学に関する各委員会および「医学教育改革推進センター」の位置づけと責任範囲をより明確にすべきである。統轄する委員会組織に、学生や卒業生を含む広い範囲の教育の関係者からの意見を、さらに反映させることが望まれる。教育資源の分配においては、教育業績も踏まえた教育上の要請に沿って配分すべきである。事務職員および専門職員をより適切に配置し、教育プログラムと関連の活動を支援すべきである。事務組織においても、教学にかかわるSDをさらに充実することが望まれる。

### 8. 1 統轄

#### 基本的水準： 部分的適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・教学に関する各委員会および「医学教育改革推進センター」の位置づけと責任範囲をより明確にすべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【今後の計画】

教育課程の運営に責任を教務委員会、カリキュラムの実施状況及び学修成果について評価を行うプログラム評価委員会、医学部のカリキュラムの立案及び改善等を行うカリキュラム委員会の役割を整理する。令和6年度からこれまで特任教授であった医学教育改革推進センター長を専任の教授とし、加えて専任の准教授を置くことで組織の強化を図ることとしている。今後は、教学における、企画、運営、管理の範囲とその位置づけを明確にしていく。

##### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料52 医学教育改革推進センター担当教授候補者の公募について（依頼）
- ・資料53 医学教育改革推進センター運営会議内規

### 質的向上のための水準： 部分的適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための示唆

- ・統轄する委員会組織に、学生や卒業生を含む広い範囲の教育の関係者からの意見を、さらに反映させることが望まれる。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【今後の計画】

学生の学年代表に、当該学年の意見を集約した上で、各委員会に出席してもらう方法を検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料3 令和6年度第1回医学教育改革推進センター運営会議議事概要（案）

## 8. 2 教学のリーダーシップ

### 基本的水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

#### 改善のための助言

- ・医学教育プログラムを運営する教学のリーダーシップの責務をより明確に示すべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【今後の計画】

カリキュラム委員会、プログラム委員会、医学教育改革推進センターの運営委員会等に置いて、教育プログラムの企画、管理に関して、医学教育改革推進センターと各委員会の連携、分担に関して、検討を継続する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料4 産業医科大学医学部プログラム評価委員会規程
- ・資料5 産業医科大学医学部カリキュラム委員会規程
- ・資料53 医学教育改革推進センター運営会議内規

**質的向上のための水準： 部分的適合**

**特記すべき良い点（特色）**

- ・学長、副学長、医学部長は、常勤監事による教学関係の業務監査を毎年実施している。

**改善のための示唆**

- ・教学におけるリーダーシップの責務に対する評価を、医学部の使命と学修成果に照合して行うことが望まれる。

**関連する教育活動、改善内容や今後の計画**

**【今後の計画】**

学長、副学長、医学部長への常勤監事による教学関係の業務監査の内容に、医学部の使命と学修成果の達成に対するリーダーシップについての評価を加えることを検討する。

**改善状況を示す根拠資料**

なし

**8. 3 教育予算と資源配分**

**基本的水準： 適合**

**特記すべき良い点（特色）**

- ・なし

**改善のための助言**

- ・教育資源の配分においては、インフラ整備も含め教育業績も踏まえた教育上の要請に沿って配分すべきである。

**関連する教育活動、改善内容や今後の計画**

**【現在の状況】**

令和6年度から教員の研究費傾斜配分において、組織運營業績評価として教育活動の評価項目を含めることとした。

**【今後の計画】**

今後はインフラ整備も含めて、教育資源の配分方法も検討を進める。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料54 令和6年度 研究費傾斜配分方法

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・社会の産業医学への要請を考慮して、教育資源の配分を行っている。

##### 改善のための示唆

- ・なし

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

### 8. 4 事務と運営

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための助言

- ・事務職員および専門職員をより適切に配置し、教育プログラムと関連の活動を支援すべきである。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

令和5年度から教務課内に医学教育改革推進センターを担当する医学教育推進係を新設し、教務事務部門と連携を図っている。また、令和6年度からこれまで特任教授であった医学教育改革推進センター長を専任の教授とし、加えて専任の准教授を置くことで組織の強化を図ることとした。加えて、医学教育改革推進センター長を医学部教授会の構成員とすることで、学内の教育プログラムへの理解の充実を図ることとした。

###### 【今後の計画】

今後、新たに着任する医学教育改革推進センター長を中心に教育プログラムと関連の

活動方法を検討していく。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料52 医学教育改革推進センター担当教授候補者の公募について（依頼）
- ・資料55 産業医科大学医学部教授選考内規の一部改正（案）新旧対照表

#### 質的向上のための水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・なし

##### 改善のための示唆

- ・事務組織においても、教学にかかわるSDをさらに充実することが望まれる。

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

###### 【現在の状況】

医学部教務を担当する事務職員を対象に医学教育開発研究センターが提供する医療者教育スターターキットの受講を推奨した。

###### 【今後の計画】

全学的に事務職員を対象としたSDを実施することを検討する。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料56 医療者教育スターターキット修了証

### 8. 5 保健医療部門との交流

#### 基本的水準： 適合

##### 特記すべき良い点（特色）

- ・産業医学政策や地域医療に関し、行政や地域社会と建設的な交流を持っていることは評価できる。

##### 改善のための助言

- ・なし

##### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

質的向上のための水準： 適合

特記すべき良い点（特色）

- ・産業保健に関して保健医療関連部門との協働が構築されている。

改善のための示唆

- ・なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

なし

## 9. 継続的改良

2006 年度、2013 年度、2020 年度に大学基準協会による機関別認証評価を受けた。  
教学に関する各種委員会および「IR 推進センター」を設置し、新カリキュラムの導入、学修成果の制定などを行っている。

教育プログラムの教育課程、構造、内容、学修成果/コンピテンシー、評価ならびに学修環境を定期的に見直し、改善する方法を整理・策定し、教学に関する継続的改良を確実に行うべきである。

### 基本的水準： 適合

#### 特記すべき良い点（特色）

- ・教学に関する各種委員会および「IR推進センター」を設置し、新カリキュラムの導入、学修成果の制定などを行っている。

#### 改善のための助言

- ・教育プログラムの教育課程、構造、内容、学修成果/コンピテンシー、評価ならびに学修環境を定期的に見直し、改善する方法を整理・策定し、教学に関する継続的改良を確実に行うべきである。

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

##### 【今後の計画】

引き続き、定期的にプログラム評価委員会で評価された内容をもとにカリキュラム委員会において、教学に関する継続的改良を実施していく。

#### 改善状況を示す根拠資料

- ・資料6 令和5年度 第1回 プログラム評価委員会議事概要（案）

### 質的向上のための水準： 評価を実施せず

#### 関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

#### 改善状況を示す根拠資料

なし

